



東洋海運通商

シリーズ 第2船就航

5000ト級バルカー
「EMC FAMILY」

近海船オーナー・オペレーター（船主兼運航船社）の東洋海運通商（本社・東京都中央区）が中国・台州市の臨海回浦造船所で建造していた5000重量ト級バルカー

「EMC FAMILY」

写真が5月中旬に就航した。1月に竣工した同型船「EMC FIRIST」に続くシリーズ2番船となる。

東洋海運通商はオーナーオペレーター（船主兼運航船社）として3300—2万重量ト級の自社保有船隊11隻を擁し、用船業では年500隻規模のスポット用船を手掛ける。

現在、自社保有船隊の

拡充を進めており、1月に17年ぶりの自社保有の新造船「EMC FIRIST」が就航。今回の2番船「EMC FAMILY」の竣工に続いて、今後、安定した輸送サービス提供を目的に5年計画で新造船4—8隻の整備を目指す。